



事業、制度など

座間市公共施設再整備計画を改定

概要	公共施設等の老朽化や人口減少・少子高齢化といった社会情勢の変化に対応するため、令和2年2月に策定した「座間市公共施設再整備計画（以下「再整備計画」という。）」を改定しました。
改定の背景	令和6年9月に改定した座間市公共施設等総合管理計画改定版の内容に沿って、再整備計画を改定したとともに、変化する社会情勢やこれまでに実施した事業を反映するなど、中間見直しを行いました。
前回との違い	■主な改定のポイント ①対象施設の見直し：構築物（中学校夜間照明など）を対象外としました。 ②公共施設の現況：建築経過年数を令和6年4月1日に改めたとともに、大規模改修に長寿命化事業実施を加えました。 ③公共施設の点検、診断：令和6年度から導入した包括施設管理業務委託の内容を加えました。 ④対策の優先順位の考え方：ライフサイクルコストおよび費用便益分析の内容を加えました。 ⑤再整備方針と実施時期：長寿命化およびユニバーサルデザイン化などならびにライフサイクルコスト検討の内容を加えました。
スケジュール	市ホームページ掲載：6月30日（月）
問い合わせ先	財務部 資産経営課 施設マネジメント係 TEL 046（252）7027 FAX 046（255）3550



座間市公共施設再整備計画（R 2～1 1 年）中間見直し主要変更点

第3章

第2節 対策の優先順位の考え方

3. ライフサイクルコスト

建物の償却期間中のトータルコストとして、企画・設計費、建設費、光熱水費、修繕費、解体費等を捉えたコスト比較を展開。

※ ライフサイクルコストとは、建物の企画・設計段階から工事、運営、管理、解体までの全期間にわたる費用の合計を指します。

第4章

第2節 再整備方針と実施時期

2. 再整備方針と実施時期

分庁舎

当初に予定はなかったが、計画期間中に移転整備を予定した。

東分署

当初は長寿命化を検討していたが、計画期間中に移転整備を予定した。

座間市公民館

当初は建替えを予定していたが、当該施設を含む基本構想、基本計画の策定が行われるため改修の予定に改めた。

図書館

当初は大規模修繕としていたが、ライフサイクルコストの観点から建替えが優位にあり、事業計画を再検討することとした。

プール

屋外プールの在り方を検討している状況にあり、当初予定にあった改修は行わないこととした。

【計画の進捗状況】

令和7年3月末日時点 44%（31／70件）

※ 分母は計画期間中に着工予定の施設数、分子は事業着手した施設数。

【対象施設数】

当初136⇒見直し後111 プール槽、ナイター照明など構築物を対象外とした。

青少年センター、保育園3園、市営住宅2箇所、プール2箇所など廃止施設が10か所ある。